令和2年度

源透透透透

大府市長 周村秀人

令和2年大府市議会第1回定例会の開会に当たり、私の市政運営に対する所信と予算の大要を申し述べ、市民の皆様並びに議員各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

私が市長に就任して4年間、「改善改革」を基本姿勢に掲げて、 「日本一元気な健康都市おおぶ」の実現のため、全力を傾注してまいりました。

市政運営に当たり、市民の皆様並びに議員各位から多大な御支援 と御協力をいただいておりますことに、改めまして深く感謝申し上 げます。

さて、我が国の経済状況を見ますと、令和2年1月の月例経済報告では、景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、個人消費は持ち直し、雇用情勢は、産業収益につきましては、高い水準にあるものの、製造業を中心に引き続き慎重ながまり、企業の業況判断は製造業を中心に引き続き慎重なが増しているとされております。先行きにつきましては、当面で、当時で、各種政策のの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策のあり、緩やかな回復が続くことが期待されております。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱、中東地域を巡る情勢等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要があるとされております。そして、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済の下振れが危惧されるところであります。今後も世界経済や日本経済の動向をしっかり注視してまいります。

令和2年度の国の予算は、地球環境と両立した持続的かつ包摂的な経済成長の実現と財政健全化の達成に向けて、「経済財政運営と改革の基本方針2019」に基づき、全世代型社会保障の構築に向け、社会保障全般にわたる持続可能な改革を進めるとともに、地方創生、地球温暖化などSDGsへの対応を含むグローバル経済社会との連携など、重要課題への取組を推進するとしております。

財政健全化に向けては、基本方針に盛り込まれた、新経済・財

政再生計画に沿って着実に取組を進め、2025年度の国・地方を合わせた基礎的財政収支であるプライマリーバランスの黒字化を目指し、同時に債務残高対GDP比の安定的な引下げを目指すとしております。

令和2年度の国の一般会計の予算規模は、令和元年度当初予算に 比べ1.2%の増となる102兆6,580億円と過去最大となっ ております。

税収についても、63兆5,130億円で、令和元年度に比べて 1.6%の増となっており、公債依存度につきましては、31.7% で0.5%の改善となっております。

そうした中、本市の財政状況でございますが、絶え間ない行財政 改革の成果から、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に 基づく、健全化判断比率と資金不足比率は、直近の決算である平成 30年度で見ても、早期健全化基準及び経営健全化基準に照らして、いずれも極めて健全な財政状況にあります。しかしながら、幼児教育・保育の無償化や、法人市民税法人税割の税率引下げ、会計年度 任用職員制度の開始、ふるさと納税による個人市民税の流出等、普通交付税不交付団体である本市にとって、財政状況は一段と厳しさを増しており、更なる行財政改革に取り組み、持続可能な健全財政を堅持していく必要があります。

令和2年度は、本市の新たなまちづくりの指針である第6次大府 市総合計画の初年度であるとともに、市制50周年を迎える節目の 年であります。そして、夏には、東京2020オリンピック・パラ リンピックの開催が予定されております。

令和2年度当初予算は、厳しい財政環境にあっても、市民ととも に次の50年に向けた新たなレガシーを創造し、市民一人ひとりが 本市の未来に夢や幸せを描くことのできるよう、必要な施策を推進 するための予算編成といたしました。

令和2年度の全ての会計を合わせた予算総額は、令和元年度当初 予算と比較して、15億2,824万6千円、率にして3.4%の 増となる471億617万2千円となっております。

一般会計につきましては、令和元年度当初予算に比べ、1億7,600万円、率にして0.5%の増となる324億5,600万円となり、3年連続で300億円を超え、過去最大でございます。

歳入の主な内訳を見てみますと、市税全体では、令和元年度当初 予算と比較して、2億2,052万5千円、率にして1.2%の増 となる187億2,468万4千円を計上しております。

主な税目では、個人市民税は、2億304万1千円、率にして3.0%の増となる70億686万6千円を、法人市民税は、法人税割の税率引下げの影響から3億1,716万3千円、率にして17.4%の減となる15億176万3千円を、固定資産税は、3億82万8千円、率にして3.8%の増となる82億2,589万7千円を計上しております。

税制改正に伴い新たに創設された法人事業税交付金は、1億5,967万7千円を、また、地方消費税交付金は、消費税率の引上げに伴い3億7,682万7千円、率にして22.4%の増となる20億5,682万7千円を計上しております。

繰入金のうち財政調整基金からの繰入金は、令和元年度当初予算に比べ2億7,000万円の増額となる7億2,000万円、特定目的基金からの繰入金は、令和元年度当初予算に比べ4億8,928万6千円の減額となる3億9,377万3千円を計上しております。

市債は、土地区画整理事業や市内全中学校体育館・柔剣道場の空調設備の整備等に充てるため、令和元年度当初予算に比べ7,500万円の増額となる8億500万円を計上しております。

この結果、一般会計の令和2年度末の市債残高は、約84億円で、 令和元年度末と比較して、約1億7千万円増加していますが、全会 計の令和2年度末の市債残高は、約198億円で、令和元年度末と 比較して、約5億6千万円減少すると見込んでおります。

歳出の内訳を目的別の構成比で見てみますと、民生費が全体の4 0.6%と最も大きな割合を占めており、続いて総務費、土木費、 教育費の順になっております。性質別では、会計年度任用職員制度 の開始により、人件費が大きく増加するため、人件費、扶助費、公債費を合わせた義務的経費の構成比は、48.3%となり、前年度と比べて大きく伸びたほか、投資的経費の構成比は、9.8%となっております。

それでは、本年4月からスタートします、第6次大府市総合計画の将来都市像である「いつまでも 住み続けたい サスティナブル健康都市おおぶ」を実現するための9つの『政策目標』にそって、令和2年度の主な事業について御説明いたします。

全ての市民が、安心して暮らせる健康都市であり続けるためには、 その将来を担う子どもたちが、元気で、健やかに育つ環境づくりが 最も重要であります。

はじめに、私が市長に就任して、直ちに、「子ども・子育て応援基金」を設置するとともに、「子ども・子育て八策」として、特に力を入れて実施してまいりました、**政策目標7の「子どもが輝くまち」**についてでございます。

これまで、市立保育園では、荒池保育園の建替え、若宮保育園の保育室増室、トイレの洋式化及び防犯カメラの設置など、保育環境の整備を進めるとともに、民間の認可保育所の誘致や市が認定した認可外保育施設である認定保育室の認可化により、保育所定員を拡充し、待機児童対策を行ってまいりました。また、保健センター内の子育て世代包括支援センターの開設、産後ケア事業の実施、妊産婦健康診査の充実及び病児病後児保育運営費補助の拡充など、子育て支援も積極的に行ってまいりました。

教育分野では、教育委員会の所掌事務を学校教育に特化し、小中学校での確かな学力の育成や体力づくりを推進するとともに、小中学校の普通教室、特別支援教室の空調設備設置、校舎・体育館のトイレの洋式化、防犯カメラの設置及び全小学校遊具の更新などの環境整備を進めてまいりました。また、スクールカウンセラー、心の教室相談員、養護教諭補助員の増員、「大府市いじめの防止等に関する条例」の制定及びレインボーハウスでのタブレットを活用した遠隔授業などを実施いたしました。

その他に、日本語指導講師の派遣及び携帯型音声翻訳機の導入による外国人児童生徒への支援、副読本「大府市にゆかりのある人」を活用した道徳教育の推進、ICTを活用したプログラミング教育、中学生の平和学習及び水泳授業における民間プールの活用など、児童生徒を支える事業を積極的に実施してまいりました。

令和2年度につきましては、「質の高い保育・幼児教育の提供」の分野では、多様な保育ニーズや急増する3歳未満児の保育需要に対応するため、令和元年度に誘致した民間保育所5園が、令和2年度に開園いたします。また、長草保育園及び長草デイサービスセンターの空調機器を改修し、快適な室内環境を確保いたします。

「子どもの健やかな成長を喜び合える環境づくり」の分野では、「子ども・子育て八策」の新たな事業として、3歳未満の多胎児を持つ保護者及び多胎児を妊娠している方を対象に、家事等を支援するサポーターの派遣や一時預かり、移動支援などを提供し、多胎児家庭の負担の軽減を図ります。また、不妊治療を受けている夫婦に一般不妊治療費の補助に加え、新たに体外受精などの特定不妊治療に係る費用の補助を開始し、経済的な負担の軽減を図ります。

家庭での児童の健全育成を図るため、家庭、地域、関係機関が連携した「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、児童虐待の未然防止 と児童を取り巻く諸問題について早期発見、早期解決に努めます。

放課後クラブにつきましては、保護者の負担の軽減を図るため、 月途中に入退所した場合の育成手数料をその日数に応じて、半額に いたします。また、共和西放課後クラブを民間委託し、民間のノウ ハウを活用した質の高いサービスを提供するとともに、これまで、 石ヶ瀬小学校と石ヶ瀬児童老人福祉センターに分かれて実施して いた放課後クラブについて、石ヶ瀬小学校内での実施一元化に向け た準備を行います。

市制50周年記念事業として、NHK教育テレビの番組「おかあ さんといっしょ」の10代目体操のお兄さんである佐藤弘道氏を講 師として招き、親子で楽しめる運動遊びイベントを開催いたします。

「心身ともに健康で知恵と愛を持つ児童生徒の育成」の分野では、

本市が独自に策定した子どもの運動遊びプログラムを小学1年生の体育の授業に取り入れ、体力の向上を図るとともに、よりよい水泳指導を受けられるよう、民間の水泳授業指導支援を石ヶ瀬小学校に加え、吉田小学校の2年生及び6年生を対象に、東部知多温水プールを活用して試行いたします。

児童生徒を取り巻く様々な課題を早期に解決するため、新たにスクールロイヤー及びスクールソーシャルワーカーを設置するとともに、特別支援学級補助員及び養護教諭補助員を増員いたします。また、中学校における部活動指導の充実及び教職員の多忙化解消を図るため、大府南中学校に試行的に導入した部活動指導員を市内全中学校に導入いたします。

学校環境の整備として、市内全中学校の体育館・柔剣道場にLPガス災害対応バルクとその燃料で稼働する電源自立型空調機を設置し、体育館利用時の熱中症予防対策を推進するとともに、災害時の避難所としての環境の向上を図ります。

ICT教育については、小中学校の全ての普通教室に電子黒板を導入するとともに、小学3年生以上の2人に1台のタブレットを導入し、先駆的に推進してまいりました。令和2年度は、さらなる充実を図るため、国の補助制度を活用し、小学5年生、小学6年生及び中学1年生に、1人1台のタブレットを導入することなどにより、ICT教育を推進いたします。また、これまでに蓄積したICT教育のノウハウをまとめた独自のプログラミング教育指導書を作成するとともに、本市が進めるプログラミング教育の実践内容について、教職員による成果発表会を開催いたします。

市制 5 0 周年記念事業として、市制 2 0 周年の際に大府みどり公園に埋設したタイムカプセルを掘り起こすイベント及び模擬議会を開催し、S D G s に関する「中学生宣言」を市内外に発信する「中学生サミット」の開催に加え、学校と生徒が協力して新たに市の木となる桜の植え替え植樹を大府中学校で実施いたします。また、50周年を迎える北山小学校及び大府西中学校の記念事業に補助を行います。

次に、**政策目標1の「こころもからだも元気に過ごせるまち」** についてでございます。

これまで、健康管理では、市役所内に熱中症対策推進本部を設置し、全庁的な対策を施すとともに、クールシェアスポットの登録及び同報無線の活用などにより、市民の熱中症対策を実施いたしました。また、各種検診の拡充に加えて、小児がん治療児の再接種費用の助成及び骨髄移植ドナー支援などの事業を実施するとともに、株式会社タニタヘルスリンクと連携した活動量計を用いた健康プログラム及び子どもの運動遊びプログラムを実施してまいりました。

大府の偉人である、世界的な数学者永田雅宜氏のプロジェクトでは、楽しく算数や数学を学ぶ事業を実施するとともに、大府の地に分工場を構えた鈴木バイオリン製造の創業者である、鈴木政吉氏のバイオリンレクチャーコンサートを開催し、功績をたたえる銅像をおおぶ文化交流の杜に設置いたしました。

文化の分野では、愛三文化会館及びメディアス体育館おおぶの大規模改修、歴史民俗資料館の常設展示室の拡張、大倉公園茅葺門の改修などのハード整備を実施するとともに、おおぶキネコ映画祭、ショートフィルムフェスティバル及びアートオブリストの開催に加え、本市の魅力を発信するため、本市を舞台とした映画、「おっさんずルネッサンス」及び「スイッチバック」の2本の製作を支援いたしました。また、文化財等保存伝承では、子供三番叟衣装の購入補助、半月七社神社おまんと祭りの無形民俗文化財指定を行いました。

スポーツの分野では、至学館大学と連携したレスリング教室を開催するとともに、「金メダルのまち」のPRとして、市庁舎1階、市民健康ロビーでのオリンピック出場選手のパネル展示、応援ポロシャツの制作及びゴールドポケットパークの整備に加え、東京2020オリンピック聖火リレーの誘致を実現いたしました。

令和2年度につきましては、「地域資源を生かした健康づくりの推進」の分野では、令和2年8月生まれ以降の乳児を対象に、10月から新たにロタウイルスワクチンの定期接種を開始するとともに、3歳児健診における眼科検診で屈折検査機器を新たに導入し、

視覚検査の精度向上を図ります。

認知症不安ゼロ作戦として、プラチナ長寿健診の対象が65歳以上に拡大することに伴い、コグニノートの対象年齢を75歳以上から65歳以上に拡大するとともに、公民館等に設置してあるシステムから結果レポートが出力できるようにいたします。

市内の医療機関で実施する個別健康診査の項目に結核検診及び 肺がん検診を追加するとともに、個別のがん検診に胃がん検診を追 加いたします。また、糖尿病による生活習慣病の発症や重症化を予 防するため、重症化の恐れがある未治療者に対して、電話による受 診勧奨に加え、新たに面談等による保健指導を行います。

「第1次大府市自死対策計画」に基づく自死予防を推進するため、 自死の危険を示すサインに気づき、声掛けや見守りのできる人材で あるゲートキーパーを養成いたします。

市制 5 0 周年記念事業として、ゲストウォーカーを招いた第 1 4 回大府シティ健康ウォーキング大会を開催するとともに、株式会社スギ薬局の「ウェルネスフェスタ×ママカフェ」と共同して、小学生を対象に地産地消の推進と野菜離れの改善を目的とした、こども料理コンクール「ビストロおぶちゃん」を開催いたします。

「健やかな暮らしを支える連携の強化」の分野では、株式会社タニタヘルスリンクや市内企業等と連携した大府市健康プログラムの実施や、市制50周年を記念して、世界各地を仮想的に巡る歩数イベント、「みんなで地球1周健康プログラム」を開催いたします。また、「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」の理念を市内外へ広く発信するため、9月の世界アルツハイマー月間に関係団体と連携し、啓発事業及びライトアップイベントを実施いたします。

高齢者の運転寿命の延伸や高齢者の交通事故リスクの低減を目的として、国立長寿医療研究センターと協力し、高齢者の安全運転技能の維持・向上に効果的なトレーニング方法の開発に向けた研究を進めるとともに、全世代型地域包括ケアの推進に向けて、「大府市地域包括ケア推進ビジョン」の基本理念等を周知するため、講演会等を開催いたします。

中国香港で開催される健康都市連合国際大会や大阪府泉佐野市で開催される日本支部総会及び大会に参加し、「健康都市おおぶ」の取組やその成果を広く発信するとともに、健康都市連合加盟団体や他の健康都市との交流や情報交換を行います。

「安心を支える医療制度の充実」の分野では、中学校卒業までの 医療費の無償化を引き続き行うとともに、障がい者や高齢者、母子・ 父子家庭への医療費助成を行います。また、一般会計からの繰入金 により国民健康保険事業を安定して運営いたします。

「文化芸術・学習活動を通じた健やかな心の醸成」の分野では、市制50周年記念事業として、本市の広報大使である世界的なバイオリニスト竹澤恭子氏のバイオリンコンサートを開催するとともに、大府市音楽祭では、市民合唱団が参加する音楽祭「第九コンサート」、大府市芸術祭では、市内で飲食店を経営する俳優鈴木林蔵氏が出演する舞台「リア王」を開催いたします。その他にも、音をテーマにした企画展「Art Obulist(アートオブリスト)2020」や、現代アートに関する地域展開事業を愛知県と共催いたします。また、市制50周年を記念して製作された「おっさんずルネッサンス」及び「スイッチバック」の2本の映画について、機会を捉えて上映いたします。

歴史民俗資料館では、遠野市との友好都市締結10周年を記念して、「遠野市交流記念 遠野物語の世界展」を開催するとともに、市指定文化財の保護のため、北尾山之神社祭礼山車の修復費用の補助や、愛知県立大学の協力のもと、延命寺の紙本墨書大般若経の悉皆調査報告書を作成いたします。

「豊かで健やかなスポーツライフの創出」の分野では、56年ぶりに東京で開催されるオリンピック・パラリンピックに関連し、オリンピック聖火リレーやパラリンピック聖火採火式のほか、本市にゆかりのある選手を応援するパブリックビューイングを実施いたします。さらに、メダル獲得の際には、凱旋パレードを実施いたします。また、レスリングへの関心を高めるため、至学館大学レスリング部と協働し、ちびっこレスリング教室や講演会を開催いたしま

す。第35回大府シティ健康マラソン大会についても市制50周年 を記念して、ゲストランナーを招聘して開催いたします。

計画的に改修を進めているスポーツ施設につきましては、メディアス体育館おおぶの駐車場区画線工事、横根グラウンド外周フェンスの更新及び防球ネットの増設工事を行います。また、新たなスポーツ施設の整備に向け、外部の委員による新スポーツ施設整備検討委員会を設置いたします。

次に、**政策目標2の「地域で助け合えるまち」**についてでございます。

これまで、高齢者支援では、常設のふれあいサロンの開設・運営費助成制度を創設し、「大府市買い物支援ガイド」の作成及び「大府市地域見守り活動に関する包括協定」に基づき、移動スーパーによる食料品販売事業を開始いたしました。

全国初となる「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」を制定し、そのシンボルとなるオレンジリングモニュメントを設置するとともに、認知症高齢者事前登録制度及び個人賠償責任保険制度を創設いたしました。また、認知症家族支援のためのプログラム講座の実施、家族交流会の開催支援及び認知症初期集中支援事業を実施いたしました。

障がい者支援では、肢体不自由児等のための通園施設、発達支援センターみのりを開園するとともに、障がい児日中一時支援事業の未就学児への拡充、軽度・中等度難聴児の補聴器購入費用の助成及び障がい者施設の歯科検診補助などを実施いたしました。

平和都市宣言に伴い、平和を祈念する石碑の設置と被爆2世樹木のアオギリを植樹するとともに、平和の尊さや重要性を市民と考える機会として、平和朗読会を開催いたしました。また、平和大使として中学生の広島及び長崎派遣や戦没者追悼式を平和祈念戦没者追悼式として、平和を祈念する内容を加えて開催いたしました。

令和2年度につきましては、「地域で支え合う福祉のまちづくり」 の分野では、地域の福祉を支える民生児童委員の活動費や協議会へ の補助金を増額し、円滑な民生児童委員活動を支援いたします。 「おおぶ・ピース・プロジェクト」として、戦争の悲惨さや平和の大切さを市民とともに考え、次の世代へ継承するため、国内で唯一、地上戦が行われた沖縄県へ中学生平和大使を派遣するとともに、市内在住の戦争体験者へのインタビューを映像化し、平和教育に活用いたします。また、市制50周年記念事業として、戦争の悲惨さや平和の大切さを次の世代へと継承するための「平和講演会」を開催いたします。

「高齢者の社会・地域参加の促進」の分野では、地域の高齢者同士が気軽に集える場であるサロンの開設・運営を支援するため、食事の提供を行う常設サロンへの補助を増額するとともに、高齢者の健康増進及び社会参加を促すための温水プールの助成についても、東部知多温水プールの料金改定に合わせて増額いたします。

「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」に定める施策を計画的に推進するため、「第8期大府市高齢者福祉計画」の策定に併せて、新たに、「第1期大府市認知症施策推進計画」を策定するとともに、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく支えられる人材を育成するため、「認知症サポーター養成2万人チャレンジ」を継続し、達成時には記念セレモニーを行います。

市制 5 0 周年記念事業として、高齢者の長寿を祝い、高齢者の社会参加の促進や生きがいの高揚を図るため、敬老会のアトラクションを充実して開催いたします。

「障がいのある人が自分らしく地域で暮らせるまちづくり」の分野では、本議会に上程しております「大府市手話言語条例」の基本理念に基づき、手話とろう者への理解を普及するため、手話を紹介する動画やリーフレットを作成します。また、ろう者同士の交流の場や市民が触れ合う場となるサロンの開設を支援するとともに、45年ぶりに愛知県内で開催される、「第68回全国ろうあ者大会 in あいち」に対して助成金を交付いたします。

障がい者への支援として、視覚障がい者用の情報・通信支援用具の給付要件の拡大、喀痰吸引や経管栄養を行える障がい福祉従事者を養成するための受講費の助成、市外の地域活動支援センターにお

ける専門的な機能訓練等が受けられる給付費の支給に加え、発達支援センターおひさまで提供する早期療育事業の実施日数を週4日から週5日に拡充いたします。

市制 5 0 周年記念事業として、従来の美術作品展示に加え、音楽や舞台演劇の発表などを行う、障がい者アート展「パラアートおおぶ 2 0 2 0」を開催いたします。また、障がい者虐待防止の取組を推進するため、出前講座等で活用する啓発パンフレットのデザインを見直し、より分かりやすい内容に改訂いたします。さらに、障がい者福祉を計画的に推進するため、第 6 次大府市総合計画をはじめ「大府市地域福祉計画」や関連計画などとの整合を図った「第 6 期大府市障がい福祉計画」を策定いたします。

次に、**政策目標3の「支え合い学び合うまち」**についてでございます。

これまで、市民との協働による健康都市を目指す「大府市協働のまちづくり推進条例」を改正するとともに、地域力コーディネート強化塾及び職員と市民との協働による河川清掃を実施いたしました。また、自治区とコミュニティの在り方を検討する地域力活性化会議の開催、市民と市長のまちトークの開催及び地域別懇談会の開催などにより、地域との連携を推進してまいりました。さらに、自治区運営補助金の増額やコミュニティ補助金の統合により活用しやすい補助金といたしました。

青少年育成では、公民館を活用した中学生への学習支援を行う「まなポート」を実施するとともに、選挙年齢の引下げに伴い、愛知県内初となる大府東高校への期日前投票所設置や高校生議会を開催し、主権者教育を支援いたしました。また、市役所・商工会議所の連名でのイクボス共同宣言、女性の活躍促進宣言及び「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言への賛同など、女性の働きやすい環境づくりを支援してまいりました。

都市間交流では、遠野市に加えて新たに新居浜市との協定を締結し、市民の相互の交流を推進するなどの事業を実施いたしました。

令和2年度につきましては、「協働による地域力が備わるまちづ

くり」の分野では、社会情勢の変化に対応するため現行の指針を見直し、「大府市協働のまちづくり推進のための指針IV」を策定いたします。また、団体への支援として、東山コミュニティ推進協議会の30周年及び大府市地域婦人団体連絡協議会の50周年の記念事業への補助を行います。

「地域における学習・育成環境が整い、学び合うまちづくり」の 分野では、市制 5 0 周年記念事業として、市民芸人育成プログラム の卒業生を始め、プロ・アマ問わずに参加可能なお笑いコンテスト 「OBU-1グランプリ 2 0 2 0」を開催するとともに、令和元年 度に引き続き、若者と地域の人々によりJR大府駅東西ロータリー に加え、駅東側の通りにもイルミネーションを設置し、駅前のにぎ わいを創出する「若者駅前プロジェクト」を実施いたします。また、 市制 5 0 周年を記念して製作された、男女共同参画に関わる映画 「おっさんずルネッサンス」の上映会の開催を支援いたします。

「国籍・性別を超えて共に支え合うまちづくり」の分野では、市制 5 0 周年記念事業として、交流都市である新居浜市への市民ツアーや王滝村への自然体験ツアーの実施により、都市間交流を推進いたします。また、遠野市で開催される友好都市提携 1 0 周年記念式典に参加し、さらなる交流を推進いたします。

携帯型音声翻訳機等の配備を充実するとともに、青少年女性課に外国人の一元化窓口を設置し、外国人への窓口サービスの向上を図ります。

次に、**政策目標4の「環境にやさしい持続可能なまち」**について でございます。

これまで、「大府市家庭系ごみ減量化実施計画」を策定し、学校給食等の残菜の横根バイオガス発電施設における処理や家庭系生ごみ分別収集モデル事業及び使用済み小型家電回収などを実施いたしました。また、使用済み小型家電回収においては、「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」を推進いたしました。その他にも、粗大ごみの個別収集の開始や小規模貯水槽水道の適切な管理のための条例制定などにより、住みやすい環境づくりを推進

いたしました。

令和2年度につきましては、「地域における持続可能な循環型社会の形成」の分野では、海洋汚染等の原因となるプラスチックごみの削減に向けて、バイオマスプラスチックを利用した環境にやさしいごみ袋を作成し、まずは、ごみゼロ運動やアダプトプログラムなどで活用いたします。また、食品ロス削減に向け、公民館でエコクッキング教室を開催いたします。

ごみの資源化につきましては、「大府市家庭系ごみ減量化実施計画」に基づき、家庭系生ごみを分別収集し、資源として活用する事業の実現可能性を調査するため、令和元年度に引き続き横根地区をモデル地区として実施いたします。

公共資源ステーションの安全性と利便性向上のため、市役所のステーションをドミー大府店へ移設するとともに、アピタ大府店での回収を月2回から週1回に拡充いたします。また、廃棄物の適正処理の指針となる、「第3次大府市一般廃棄物処理基本計画」を策定いたします。

「地球環境にやさしい取組の推進」の分野では、石ヶ瀬川・鞍流瀬川・延命寺川周辺を中心に地域の団体が主導する環境保全活動である「クリーン・アップ・ザ・ワールドin大府」の活動を継続して支援いたします。また、新たな取組として、低炭素社会の実現に向け、温室効果ガスの排出抑制に加え、災害時にもエネルギー供給等を維持できる、家庭用リチウムイオン蓄電池の整備を促進するため、補助制度を創設いたします。

市民・事業者・行政の協働により、環境に配慮した持続可能な社会を構築するための指針となる「第3次大府市環境基本計画」を策定するとともに、水質汚濁防止法に基づく境川流域の生活排水対策を推進するため、「第3次生活排水対策推進計画」を策定いたします。

次に、政策目標 5 の「安心安全に暮らせるまち」についてでございます。

これまで、防災・減災対策では、雨水対策を一元的に実施する部

署の設置、被災者支援システム及び市町村防災支援システムの導入、新居浜市との災害時相互応援協定締結など、防災体制の充実を図るとともに、防災ガイドブックの全戸配布、防災士資格取得補助制度の創設、「大府市避難行動要支援者名簿に関する条例」の制定に伴う名簿の作成及び民間住宅の耐震改修の支援拡充などを実施いたしました。また、市内全てのコンビニエンスストアへのAED設置、吉田分団詰所建替え及び災害対応特殊救急自動車等の更新により、消防・救急体制の充実を図りました。

防犯対策では、防犯施策の基本となる「第3次大府市犯罪のないまちづくり基本計画」を策定し、地域安全推進員の増員による青色パトロールカー3台体制への拡充を行いました。また、新たに策定した「大府市公共施設等の防犯カメラ設置基準」に基づき、公共施設に加え、効果の高い設置場所を自治区と選定し、民間との連携により、防犯カメラの設置を推進いたしました。

交通安全対策では、全ての道路照明灯のLED化及び本市で初となる生活道路の速度規制「ゾーン30」を設置するとともに、歩行者等への安全対策として、信号のない横断歩道に歩行者横断点滅機の設置を行いました。また、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社との交通安全に関する連携協定の締結及び勤務形態や職務内容の見直しによる交通指導員の確保などを行いました。

令和2年度につきましては、「消防・救急体制の充実」の分野では、 消防庁舎の照明機具の老朽化及び省エネルギー対策として、LED 照明に更新するとともに、消防、救急及び救助活動に万全を期すた め、消防車両等更新計画に基づき、災害対応特殊水槽付消防ポンプ 自動車及び資機材搬送車の更新や、屈折はしご車のオーバーホール を実施いたします。また、消防署新共長出張所・防災学習センター の令和2年9月開館に向け、展示物や備品、植栽工事や火の見櫓・ 常夜灯の移設工事を行います。さらに、開館時にはオープニングセ レモニーを開催するとともに、市制50周年記念事業として、消火 体験やステージイベントなどを行う市民参加型の「消防広場」を開催し、防火意識の高揚に努めます。

「計画的で包括的な治水対策の推進」の分野では、河川の水位情

報をリアルタイムに提供するため、河川水位監視システムの機器及びシステムを更新いたします。また、浸水対策を進めるため、大府北中学校敷地内に地下式調整池を設置するための工事を開始いたします。

「防災・減災対策の推進」の分野では、大規模災害への対策として、同報無線のデジタル化により、広範囲に明瞭な音声を届けることができる、高性能スピーカーを吉田公民館に設置いたします。また、災害時に調乳の手間がなく、水や燃料等を使わずに乳児にすぐ授乳することができる、液体ミルクを中央防災倉庫に備蓄し、大規模災害への備えを充実いたします。

減災対策として、「大府市建築物耐震改修促進計画」を愛知県が設定する目標値等を踏まえて改訂し、市内の住宅・建築物の耐震診断及び耐震改修を促進いたします。

「地域ぐるみの防犯対策の推進」の分野では、自主防犯ボランティア活動のスキルアップ及び地域等において自発的に防犯活動を行うことのできる人材を育成するため、新たに、「おおぶ防犯ボランティア養成講座」を開催いたします。また、犯罪の未然防止に向けた環境整備のため、防犯灯を計画的にLED化するとともに、自治区と連携して、防犯カメラの設置を推進いたします。

「地域ぐるみの交通安全対策の推進」の分野では、高齢者が運転する自動車事故の防止や事故時の被害軽減のため、高齢ドライバーを対象に、自動車の安全運転支援装置の設置に係る費用を補助いたします。また、歩行者等への安全対策として、歩行者横断点滅機の設置を令和元年度に引き続き行うことで、通学路の交通安全対策を推進いたします。

次に、政策目標 6 の「快適で便利な都市空間が整うまち」についてでございます。

これまで、スムーズに移動できる道路を目指し、幹線道路の整備及び補助幹線道路の改良を計画的に推進するとともに、大府駅自由通路の改修及び市道五ツ屋線と県道長草東海線へ待機場所を設置

いたしました。また、優良な住宅地の供給に向けて、横根平子地区及び北山地区土地区画整理事業を促進するための組合設立支援などを実施いたしました。

鞍流瀬川緑道及び石ヶ瀬川緑道などの計画的な整備及び星名池 や白魦池の親水施設の改修を行いました。

大府駅西口ロータリーや幹線道路等の街路樹の整備、公園遊具の計画的改修を行うとともに、ハツ屋大池公園及びてるへい公園を開園いたしました。また、知多半島のいくつかの自治体で取り組んでいる渡り蝶アサギマダラを呼ぶためのフジバカマの植栽などにより豊かな自然環境の整備を推進いたしました。

令和2年度につきましては、「未来を見据えた土地利用の推進による良好な都市空間の形成」の分野では、「大府市空家等対策の推進に関する条例」の施行に伴い、空家等の発生の予防や適切な管理及び活用の促進に取り組むとともに、アドバイザーを活用した大府駅周辺の中心市街地活性化のためのまちづくりプランを策定いたします。

木の山西部地区に産業系市街地の形成を図るため、区域区分や用途地域の変更、地区計画の決定など、都市計画手続を行います。また、本市の景観形成の基本的な方針や施策等を定めるため、景観計画を令和2年度及び3年度の2か年で策定いたします。

過去の都市計画基本図や航空写真画像を電子化し、貴重な図面データの保護を図るとともに、市制 5 0 周年記念事業で活用いたします。また、記念事業として、本市の特徴的な風景を市民から募集し、「おおぶ 5 0 景」として選定いたします。

「未来につながる良好な居住空間の形成」の分野では、横根平子地区及び北山地区の土地区画整理事業に補助金を交付することにより、事業を促進いたします。また、住生活の安定の確保と向上の促進のため、「大府市住生活基本計画」及び「大府市公営住宅等長寿命化計画」を改訂いたします。

「人と車が共存できる安心・安全な移動空間の形成」の分野では、幹線道路の市道養父森岡線、県道横根大府線等の用地取得及び道路

改良工事を実施するとともに、補助幹線道路の市道井田上線、共和 駅東線、上原殿田線等の用地取得、歩道設置工事及び道路改良工事 を実施いたします。

「緑花、親水施設の整備による潤いある都市空間の創出」の分野では、都市に残された緑の保全・創出・活用を一層推進するため、二ツ池公園周辺の里山林や、矢戸川緑道に隣接する竹林の整備を推進いたします。

ため池を活用した公園につきましては、川池の親水空間整備、辰池の遊具の整備及び植栽に加えて、横根立会池を緑や潤いを感じながら運動ができる公園として整備するとともに、整備する川池親水公園及び澄池公園に、バスケットボールの練習ができるよう、ゴールを設置いたします。

二ツ池公園につきましては、引き続き、渡り蝶アサギマダラの飛来を促すため、市民との協働により、フジバカマの花壇を設置するとともに、緑と花にあふれたまちづくりの啓発事業である、シビックガーデンコンテストを春期に加え秋期にも実施することで、より多くの市民の方が参加できるように拡充いたします。

緑の保全及び緑化推進の指針となる「大府市緑の基本計画」の改訂に合わせて、市制 5 0 周年を記念して、「桜」「つつじ」を新たに市の木・市の花に指定し、「桜」「つつじ」を街路や公園等に補植いたします。また、市内の桜の名所や開花時期等を紹介する「さくらマップ」や、長年桜の保全活動を続けた市民の功績を紹介する映像を作成し、本市の桜の素晴らしさを P R いたします。

歩行者が緑や潤いを感じながら安全に歩行できるよう、河川管理 用道路を活用した緑道整備を推進いたします。令和2年度は、共和 駅東の鞍流瀬川両岸や石ヶ瀬川の石ヶ瀬人道橋から平成橋までの 右岸の整備を行うとともに、鞍流瀬川沿いの新橋から江端大橋まで の区間をモデル地区と位置付け、野鳥などの生き物が集えるような 自然環境の保護を図ります。

「下水の適正処理による快適な生活空間の創出」の分野では、下水道事業に地方公営企業法を一部適用し、公営企業会計による会計事務を行うとともに、下水道事業経営検討委員会を設置し、下水道

事業の経営の在り方を検討いたします。

「安全な水の安定供給」の分野では、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、「大府市水道ビジョン」の見直しを行うとともに、会議やイベント等で活用している「おおぶの源水」を、市制 5 0 周年を記念してリニューアルし、大府の飲料水のおいしさを P R いたします。また、災害時においても水道水を安定的に供給するため、計画的な管路施設の耐震化を推進いたします。

次に、**政策目標 8 の「活力とにぎわいがあふれるまち」**について でございます。

これまで、ウェルネスバレー構想では、国立長寿医療研究センター及びあいち小児保健医療総合センターとの現場臨床ニーズ発表会の開催、土地利用意向調査の実施及び医・福・工連携マッチング支援を実施するとともに、ウェルネスバレーブランド認定制度を創設いたしました。

利便性の向上のため、大府商工会議所の拠点である大府市商工会館に、エレベーターを設置するとともに、トイレの洋式化、多目的トイレの設置を行いました。また、企業支援では、企業再投資促進補助金等の補助期限の延伸を行うとともに、消費生活者支援では、「大府市買い物支援ガイド」の作成及びプレミアム付商品券の発行などを行いました。

農業塾の開校、グリーンツーリズムの実施、大府駅前マルシェの開催支援、新規就農者支援として農業用機械購入等の費用助成及び果樹農家の鳥獣被害防止施設設置費用の助成などの農業支援を実施いたしました。また、農業者と石井食品株式会社とのコラボレーションによるあいちの伝統野菜を使った製品開発・販売や、国の制度を活用して6次産業化に取り組む事業者への助成を行うとともに、本市が構造改革特区「どぶろく特区」の認定を受けることができました。

にぎわいづくりでは、大府駅構内に「大府市健康にぎわいステーションKURUTOおおぶ」を開設し、本市の特産品の販売や観光 案内所を設置いたしました。また、大府駅が快適に利用できるよう、 大府駅東西の階段の改修とトイレの建替え、自由通路の改修を行うとともに、大府駅東ロータリーのバリアフリー化やシェルター設置の整備を行いました。併せて、市道大府駅東線の路面標示や歩道改修を実施いたしました。

循環バスの路線改正では、発着点をJR大府駅・共和駅に変更するとともに、豊明市及び東海市への乗り入れ、中学生以下運賃無料及び通勤・通学に利用できるO便の増発により利便性の向上を図りました。

令和2年度につきましては、「商業の活性化と地域資源を生かす観光の推進」の分野では、大府駅・共和駅周辺において、空き店舗等利活用補助事業によるにぎわい創出を引き続き支援するとともに、商店街の活性化に向けて、まちのにぎわいに関する事業の担い手である商業団体と共同して行う大府夏まつり・共長夏まつりへの補助を市制50周年記念事業として拡充いたします。

産業文化まつりにつきましては、市制 5 0 周年を記念して、都市間交流を行っている小矢部市の 4 0 0 年の歴史がある獅子舞の招致や、株式会社豊田自動織機のラグビー部及び愛三工業株式会社の自転車部によるスポーツ教室の開催など、様々なイベントを開催いたします。また、市内・近隣で開催される観光イベントとして「大府東浦花火大会」「第 4 4 回大倉公園つつじまつり」「おおぶ桜ハナモモ花めぐり」に対しても交付金や補助金を交付し、開催を支援いたします。

「基幹産業である製造業の育成、支援と雇用環境の整備」の分野では、「大府市産業立地促進条例」に基づく奨励措置による企業誘致を進めるとともに、中小企業が元気に事業を営むための支援や情報発信を行います。また、ヘルスケア産業の創出支援として医・福・工連携マッチング支援により、ウェルネスバレー事業を推進いたします。

「地域特性を生かした都市近郊農業の推進」の分野では、市制 5 0 周年記念事業として、全国のどぶろく産地との交流を図り、どぶ ろくの輪をつなぐ「第 1 5 回全国どぶろく研究大会」を愛三文化会 館で開催いたします。また、本市の特産品や伝統野菜をPRするため、小学生を対象にした伝統野菜学習講座の開催や、地元高校生による木の山芋の新メニューの開発を行います。また、愛知県で開催される第15回食育推進全国大会において、野菜ソムリエ等と連携し、大府産農産物をPRするとともに、農林水産省主催による令和元年の「第3回食育活動表彰」のボランティア部門において、消費・安全局長賞を受賞した、大府市健康づくり食育推進協議会と連携し、「朝ベジファースト」による健康づくりの推進についてPRを行います。

遊休農地の発生防止・解消や担い手への農地の集積を推進するため、農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員への能率給を導入するとともに、農地の集積・集約化を目指す「人・農地プランの実質化」を推進いたします。また、障がい者支援施設と連携して、農作業等の講座を開催し、農福連携による多様な担い手の育成を推進いたします。

ハード整備につきましては、追分立合池の護岸改修工事及び惣左 エ門上池の施設改修工事を実施し、施設を適切に管理いたします。 新たに、本市の産業振興に関わる関係団体と産業振興についての 懇談会を設置し、本市の産業振興に関する基本計画を策定いたしま す。

「利便性の高い公共交通ネットワークの形成」の分野では、持続可能な公共交通ネットワークを形成するため、「大府市地域公共交通網形成計画」を策定いたします。また、この計画に基づき利便性の高い循環バスの運行を行います。

最後に、政策目標9の「まちづくりを支える持続可能な行政経営」 についてでございます。

これまで、市民サービスの向上を図るため、愛知県からの権限移譲により、市役所でのパスポート発給やマイナンバーカード利用によるコンビニエンスストアでの住民票の写しなどの交付を行いました。また、第三者機関として有識者による大府市行財政改革委員会を設置し、外部評価制度を導入いたしました。

ICTの活用による効率的な行政経営では、ソフトバンク株式会社と「ICTの活用による持続可能なまちづくり」に関する包括連携協定を締結するとともに、タブレット端末やRPAを導入することにより、情報化を推進いたしました。また、長時間労働を抑制し、ワーク・ライフ・バランスを実現するため、市役所における22時以降のネットワーク接続の遮断により、働き方改革を推進いたしました。

健全財政を維持し、計画的に市債を減少させるとともに、ふるさと納税制度や有料広告事業にネーミングライツ制度を導入することにより、財源確保を図りました。

「健康都市おおぶ」のPRでは、おぶちゃんを市公式マスコットキャラクターに任命するとともに、広報大使の活用及びJRA「大府特別」の開催などにより、全国に「健康都市おおぶ」を発信いたしました。また、健康都市連合国際大会で健康都市優秀インフラストラクチャー賞を受賞するとともに、「住みよさランキング」と「ゆるキャラグランプリ」で共に全国6位を獲得いたしました。

令和2年度につきましては、「未来を見据えた行政マネジメント体制の確立」の分野では、会計年度任用職員制度の開始により、報酬に加えて、期末手当を支給するなど、非常勤職員の処遇改善を図ります。また、幅広い知識を有する職員を育成するため、新たに一般財団法人地域活性化センター及び地方公共団体金融機構へ派遣いたします。

公共施設の地震対策として、令和元年度の耐震診断結果に基づき、大府小学校地下駐車場の耐震化工事を実施いたします。

「健全で持続可能な財政運営の推進」の分野では、令和2年度から新たに、知多半島の5市5町による、「知多地域地方税滞納整理機構」を設立し、滞納整理及び滞納処分の事務を行います。また、ふるさと納税制度による寄附の増加や、新たな施設へのネーミングライツ制度の導入などにより、財源確保の強化を図ります。

「効率的で適正な行政サービスの提供」の分野では、市庁舎の来庁者の利便性の向上を図るとともに、災害時における情報通信手段

の確保のため、市庁舎1階の市民健康ロビー及び地下1階に公衆無線LANを整備いたします。また、事務の効率化を推進するため、愛知県共同システムにおいて、人工知能技術(AI)を活用して手書きの書類や帳票の読み取りを行うことのできる、AI-OCR及びAIを活用して市民の皆様からの相談等に対応することができるAI総合窓口を導入いたします。

市制 5 0 周年記念事業として、新たに夫婦となる市民の特別な記念となるよう、市役所を活用した届け出挙式を実施いたします。

「戦略的な情報発信と市民とのコミュニケーションの充実」の分野では、市公式マスコットキャラクターおぶちゃんの原作者にシティプロモーションアドバイザーを依頼し、おぶちゃんを活用したプロモーションを更に充実いたします。

最後に、「施策体系外」の市制50周年記念事業でございます。

令和2年4月に、愛三文化会館で愛知県市長会議を開催いたします。さらに9月には、市政の発展を市民とともにお祝いし、発展に貢献した方及び継続的な産業活動により市勢の発展に貢献した企業に対する表彰や感謝状の贈呈を行う、市制50周年記念式典を開催いたします。また、メディアス体育館おおぶでは、市制50周年の目玉事業として強力に誘致を進め、本市では初めてとなる、大相撲の地方巡業「大相撲大府場所」を開催できることになりました。大相撲は、皆様もご承知のとおり、子どもからお年寄りまで多くの人々に愛される国技でございます。大相撲大府場所では、市民の皆様に横綱・大関をはじめ、幕内・十両の力士たちの迫力ある取組を間近で楽しんでいただくとともに、「市民との交流」をテーマに力士と様々な触れ合いを実施してまいります。

以上、新年度を迎えるに当たり所信の一端を申し述べさせていただきました。

繰り返しになりますが、令和2年度は、第6次大府市総合計画の スタートの年、市制50周年の節目の年、そして、東京2020オ リンピック・パラリンピックの開催も予定されています。多くの皆 様の記憶に残る素晴らしい年になって欲しいと願っております。

全国的に人口減少時代を迎える中、本市の人口は緩やかな増加傾向にあり、「住みよいまち」として高い評価をいただけるようになりました。

総合計画の2030年計画人口は、10万人としております。この目標を達成するため、大府市の潜在能力を最大限発揮し、全ての世代の皆様が安心して住み続けることのできる、持続可能な健康都市づくりに邁進してまいります。

最後に重ねて、市民の皆様並びに議員各位の御理解と御協力を心からお願い申し上げまして、私の令和2年度の施政方針の表明とさせていただきます。